



岩江中だより

第 24 号

発行日：平成28年12月13日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail：iwaee-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【「整理整とん」ということ ～見た目の乱雑さよりも気持ちの乱雑さが問題では～】

先日の薬物乱用防止教室、学年懇談会の折は、ご多用中にもかかわらず、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。3年生には学びの環境づくりというお話を、1・2年生には次なる岩江中学校の中心としてというお話をさせていただきました。12月という1年のまとめの時期を迎え、1年間を振り返り次の年への抱負をいづく時期でもあります。何かと慌ただしい中ではありますが、そんなときこそ、整った環境の中で、落ち着いて学習等に組みませたいと考えます。

岩江中には、12月の生徒指導共通実践事項というものがあり、そのなかの一つに、「整理整とんに努め、ロッカーや共通で使うスペースの使用状況を反省し、改善できるようにする」という項目があります。そこで、今回は、「整理整とん」について考えてみたいと思います。

経営がうまくいっているお店や会社はよく整理整とんされている。塾で勉強ができる子どもさんは整理整とんがしっかりできる子が多いという実態があるそうです。整理整とんができるかできないかで仕事や勉強の効率・能率が大きく変わってくることを示しています。毎日、学校の中を巡って歩いていると、ホームベースのロッカーの整理整とんができていない生徒さんとそうでない生徒さんの成績や行動にはかなり大きな相関関係があることがあります。

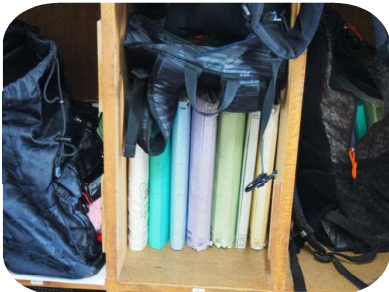
授業に目をむけてみると、机の上が使いやすく整理されている机は勉強がしやすそうです。また、読解力は、読んだ本の内容を頭の中やノートの上で整理整とんする作業ですし、学習したことをノートにまとめるのも整理整とんです。

【「整理整とん」の3つの効果】

- 1 空間の確保
広い作業スペースを確保でき、仕事・勉強がしやすくなり、能率と質が上がる。
- 2 時間の確保
ものを探す時間が減り、より多くの時間を確保でき、時間が有効に使える。
- 3 頭の質の確保
仕事・勉強に集中しやすくなり、脳が活性化し、効率が上がる。

「整理整とん」が上手になることは、空間と時間を有効に使うことができ、脳の質が向上し、仕事・勉強がよりできるようになるということだと考えられます。ただし、「整理整とん」は、学校や親がやってあげるのではなく、最終的には、本人自身ができるようになることが肝心です。本人ができるように手助けしてあげることが大切です。

そういう自分自身、机の中に書類が積み重ねてあったり、パソコンの中から必要なデータを探すために検索機能を多用したりという状況です。みんなで「整理整とん」ができる人になるよう努めてまいりましょう。



【心と科学！ ～12月7日（水）薬物乱用防止教室開催～】

三春病院協のさくら調剤薬局にご勤務なされている濱田雅博先生を講師にお迎えし、PTA学習支援委員会のみなさんと共に、「薬物乱用防止教室」を開催しました。

濱田先生は三春町出身で、岩江地区の同級生と三春中で一緒に学び、三春中生から見た岩江地区の同級生のお話を思い出話としてお話いただいたり、ご自身のこれまでのご経験をお話いただいたりして、和やかなうちに講座が始まりました。

薬物に関するさまざまなお話をいただきながら、薬物依存が、単なる気持ちや意志の弱さではなく、“一度きりなら”ということで使用してしまうと、その薬物を体自体が欲するようになり、やめたくてもやめられない状況が体の中につくられてしまうというお話が印象に残りました。

かけがえのない一度きりの人生を、薬物などで台無しにすることなく、大切に歩んでいかなければならないという思いを強くしました。



【毎日おいしくいただいて、日々、健康です！～調理員さん、千恵先生、ありがとう。～】

お昼になると、毎日、温かでおいしい給食が私たちのもとに届きます。調理員さんたちと給食担当の千恵先生は、早朝から、食材の受け取り、打合せ、下ごしらえ、調理、盛り付け、検食づくり、配膳など、めまぐるしい活動を、毎日、毎日繰り返して下さっています。

バランスのよい、しかも、おいしい給食をいただき、その成果が日々の健康につながっています。安価な価格で、おいしい給食をとはいいますが、給食関係のみなさんのご努力はたいへんなものがあります。

先日、三春中学校で、「食育」という研究発表会がありました。家庭での食事のバランスや偏りについて自ら考え、食生活を自分の手で改善していくためには、という内容でした。太り過ぎだけではなく、痩せ過ぎも今の日本の子どもたちの課題であるそうです。

食べることは生きる基本です。きちんと体のことを考えてバランスよく食べることができる「食べる力」を身につけ、食材から調理、保護者のみなさんのおかげで食べられる食事、他の命をいただいて生きていくことなどへの「感謝の心」を育て、この岩江地区だからこそ、よりよく生きていくことができるという「郷土愛」も育てていきたいと思ひます。

日々、健康に食べていける、生きていけることへ心から感謝したいと思います。



【冬はつとめて！】

今日、防火用水をのぞくと氷が張っていました。「枕草子」で清少納言は、「冬はつとめて。」と言っています。冬には冬のよいところがあります。寒さに負けず、病気にも負けず、今年の寒さを楽しむことも。暖かな春を心待ちに。

